

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2003. 10. 1

参加者 倉橋（西大寺南小）三辻（彦崎小）松本（国府小）福井（伊島小）

例会の途中に石浦先生の奥様から電話がありました。リハビリの経過は順調で、ご自分でベッドから降りたり車椅子に乗ったり杖をついて立ったりすることができるようになったそうです。また、4日（土）にサイエンスフィールドで行う子ども科学教室にも参加してくださいと伺い、たいへん嬉しく思いました。一日も早い退院をお祈りしております。

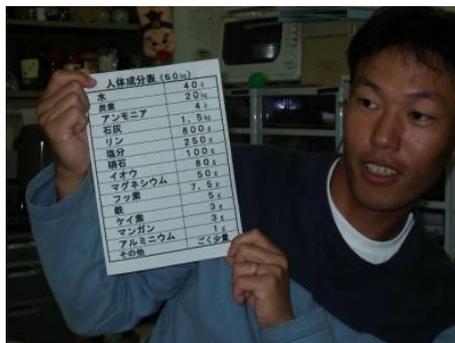
【ストロー人形】福井

夏休みに尼崎で行われた「科学体験まつり」で仕入れてきた工作ネタです。ストローで人形を作ります。腕などの関節部分は切れ込みを入れ、曲がりやすくしています。腕の先から中を通して足先までテグス糸を通し引っ張ります。すると腕が自在に折れ曲がり、体操をしたりポーズしたりすることができます。ゴムもバネも使わず、ストローの弾力だけで動く所が優れものだと思います。ただ、関節部分のストローをほんの少し残して切るのは大人でも難しく、小学校でやるには工夫が必要です。福井は100円ショップで買った1穴パンチで穴をあけ、残りをはさみで切り取るようにしました。しかし、これもまだ結構難しく、指導者がある程度の下準備をする必要がありそうです。



【命の値段・ハゲワシと少女】松本

水40リットル、炭素20kg、アンモニア4リットル…、これは一体何の成分表でしょう。そう、実は体重60kgの人の体を構成する物質です。そして、これらの物質の値段を合計するとたったの6千円にしかならないのだそうです。唯物論で人間の価値はこれだけなのか！と驚きました。山で遭難した人を救助するためのヘリコプターや海難事故のトロール船の費用は、時に数千万円になることもあります。人命は地球より重いとまで言い切ることは難しいですが、考えさせられる数字です。



もう一つ道德の資料。写真家ケビン・カーター氏が撮影した写真は内戦や干ばつで餓死者が頻発しているスーダンの状況を衝撃的に伝えたものとして、権威あるピューリッツァー賞を受賞しました。しかし、少女が餓死するのを待っているハゲワシの姿を目撃した時に、なぜ目の前のハゲワシを追い払わず写真を撮ったのか、カーター氏のとった行動について考えてみる授業には、とても心揺さぶられますね。



【写真で分かる固定観念・道德指導案・正方形パズル】松本・三辻・倉橋

松本先生の2つに切られた写真は見えない部分を想像することで自分の持つ偏見、固定観念について考えさせられるという教材。三辻先生の道德指導案は戦争や貧困で苦しんでいる世界の子供達について考えるもの。倉橋先生のパズルは4つのピースで正方形を作り、さらに1ピース足して組み直し正方形を作るというもの。ピース1つずつに名前を書く欄をもうけている気配りがにくいですね。